リクライニング・コンサート

リクライニング席で、最高の演奏をリラックスした雰囲気で聴けるユニークな60分コンサート!

第86回 クラリネットの日 クラリネットの魔術師が魅せる! アレッサンドロ・カルボナーレ(クラリネット)

プレフランドロ ガルボブ レ(フフラボ)

黒田亜樹(ピアノ)

2012年2月18日 [土]

14:00 start(13:30 open)

17:00 start(16:30 open)

1回券 普通席 3.000円

リクライニング席 3.500円 (1ドリンク付)





後援:イタリア文化会館

ローマの聖チェチーリア音楽院管弦楽団の首席クラリネット奏者カルボナーレによる驚異の超絶技巧!繊細な弱音、堂々たる強音、凍える寂しさや輝く明るさまで、まさに幅広い表現が誰をも魅了します。天才的に自由自在に操るクラリネットとピアノの黒田亜樹とのスーパーコラボレーションは、絶対に聴き逃せません。華麗なパフォーマンスに圧倒されること間違いなし!

プログラム

◎プーランク: クラリネットとピアノのためのソナタ ◎パスクッリ: 蜂

◎ピエラヌンツィ:エリジオン・ドゥ・ジュール ◎プリオーロ:タンゴ・エスコンディード

◎コヴァーチ:ショレム・アレイハム、ロヴ・ファイドマン! ◎ザッパ(A.チェンナ編):FZ フォー・アレックス

アレッサンドロ・カルボナーレ(クラリネット) Alessandro Carbonare, clarinet

1967 年イタリア、デゼンツァーノ(ヴェネツィア近郊)生まれ。5歳からクラリネットをはじめ、ヴェローナ音楽院でブルーノ・リゲティに師事。87年首席で卒業。その後トマス・フリードリ、ワルター・ブイケンスに学ぶ。パリ、トゥーロン、ジュネーブ、プラハ、ミュンヘンの主要な国際コンクールで一等賞を次々と獲得。若手ソロ奏者として、ヨーロッパで脚光を浴び、これまでにバイエルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド響、イ・ソリティ・ベネチィなどと共演。またアバドに招かれ、彼の指揮する祝祭管弦楽団とも共演した。一方、オーケストラ奏者としては、リヨン歌劇場管弦楽団を経て、イタリア人とは異例のフランス国立管弦楽団首席となり、現在は、ローマのサンタ・チェチーリア国立音楽院管弦楽団の首席奏者。ムーティ、小沢征爾、デュトワ、マズアスヴェトラーノフ、ハイテインクなど主要な指揮者のもと仕事をしている、今もっとも注目の管楽器奏者である。日本には国立音楽大学の招きでマスタークラスの指導や、スーパーワールドオーケストラ、2005年国際クラリネット・フェスティバル東京(東京・パルテノン多摩)のメイン・ゲスト、等で来日。アルバムは今までにイタリアのアゴラ・レーベルからイタリア・オペラの幻想曲集、フランスのハルモニア・ムンディなどからブラームス、モーツァルト、ウェーバーの作品集などをリリース。

黒田亜樹(ピアノ) Aki Kuroda. piano

東京芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、イタリア・ペスカーラ音楽院高等課程を最高位修了。フランス音楽コンクール第1位。フランス大使賞、朝日放送賞受賞。ジローナ20世紀音楽コンクール現代作品特別賞受賞。現代音楽演奏コンクール(日本現代音楽協会主催)で優勝、第6回朝日現代音楽賞受賞。卓越した技術と鋭い感性は同時代の作曲家からの信頼も高く、「ISCM世界音楽の日々」「現代の音楽展」「サントリーサマーフェスティバル」「B→Cバッハからコンテンポラリー」などに出演、内外作品の初演を多数手がけてきた。

クラシックや現代音楽の分野にとどまらず、ジャンルを超越したユニークな活動を行っており、TV番組やCM音楽の作曲やアレンジ等も数多く、作曲家植松伸夫氏の指名により収録した「ファイナルファンタジーX ピアノコレクション」でも話題となる。傾倒するアストル・ピアソラの演奏に於いて内外の評価を確立し、ビクターより2枚のアルバム「タンゴ・プレリュード」「タンゴ2000(ミレニアム)」をリリース。アルゼンチン・タンゴの本質を捉えた表現と大胆なアレンジは各方面で注目された。ミラノで収録した3rdアルバム「タルカス&展覧会の絵」は、ロック、クラシックファン双方から支持されキース・エマーソン自身より賞賛される。さらに2010年7月「Piano Collections FINAL FANTASY XII」を作曲家浜渦正志氏とともに、ミラノで収録、リリース。また、2011年3月イタリアLIMENレーベルより「ブルグミュラー25の練習曲、18の練習曲、12の練習曲」をDVD付でリリース。

イタリアやスイスなどの作曲家・演奏家とのコラボレーションで、欧州各国へ活動の場を広げており、クラリネットのアレッサンドロ・カルボナーレとイタリア、日本で定期的にデュオを続けるほか、オーボエのダヴィド・ワルター、トランペットのアントンセン、プロメテオSQ、指揮のジョルジョ・ベルナスコーニらと共演。サルデーニャ・カリアリのSpazio Musica現代音楽祭では、図形楽譜を含むブソッティ最新作、「Tastiera Poetica(詩的鍵盤)」(2008)を世界初演。イタリア・パルマのレッジョ劇場で、70年代ロックのカリスマ、キース・エマーソンの代表作「タルカス」を、作曲家マウリツィオ・ピサーティと共に現代作品として蘇演、ムソルグスキーの「展覧会の絵」との斬新な組み合わせで、聴衆に熱狂的に迎えられる。さらに2009年シチリア・カターニアのエトネ音楽祭にて、ELPのフィルムとともに「展覧会の絵&タルカス」を演奏。満場の観客を総立ちにさせた。

各地での活発なセミナーのほか、ミラノG.マルツィアーリ音楽院より定期的に特別講師として招かれ、国際コンクールの上位入賞者を多数輩出。ピアノ演奏法の優れた教師としても知られる。2009年イタリアLIMENレーベルにて連続録音を開始。現在ミラノ在住。